

わが家の愛ドル ~2月生まれ~







岡﨑 柚ちゃん (1歳)

Ⅰ歳おめでとう!これからも 素敵な笑顔をたくさん見せ てね。



鈴木 凰禾 ちゃん (3 歳)

3歳のお誕生日おめでとう♡ これからも元気でヤンチャ な凰ちゃんで家族を楽しま せてね☆



藤野 しおりちゃん(1歳)

お誕生日おめでとう!元気にすくすく育ってくれてありがとう。これからも楽しい思い出をたくさん作ろうね!



中田 陽翔ちゃん (2歳)

無事 2 歳になりました♥ 今はお魚に夢中ですが、将来 は何をめざすのか楽しみで す。ファイト♪



北村 凛乃ちゃん (4歳)

りのやん4歳のお誕生日おめ でとう♡ 今年もいっぱい食 べて大きくなってね。

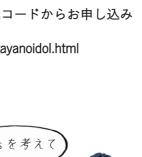


りゅうたろう 山中 隆太郎ちゃん (2歳)

2歳の誕生日おめでとう! ヤンチャで泣き虫なりゅう ちゃん。これからものびのび 育ってね!

就学前の 3 月生まれのお子さんの写真を募集します [抽選]。 2 月 10 日 日 電までに上記二次元コードからお申し込みください。

間企画広報課 広聴広報係 ☎ 0739 (26) 9963 □ https://www.city.tanabe.lg.jp/kouhou/wagayanoidol.html



11 住み続けられる まちづくりを

青春キラリ! 高校生レポーター SDGs を考.

いのちを守れる施設を

写真・文 南紀高等学校 大谷 涼雅





今回、田辺市役所新庁舎建設について建築課の音窪さんと新庁舎整備室の田ノ岡さんにお話を伺いました。新庁舎建設場所に建っていた商業施設を解体してから新庁舎の建設がされているのですが、一部は耐震改修をして書庫棟として利用するそうです。解体の時に出たコンクリートなどはほとんどが再利用されていて、細かくしてから道の舗装などに使われているそうです。解体で出たコンクリートはすべて廃棄されていると思っていたので驚きました。

さらに驚いたことがあります。新庁舎は免震構造になっていたことです。地震が来た時に建物自体が揺れるのを大幅に抑えることができ、新庁舎への被害を減らして復旧、復興の拠点にすることができます。新庁舎は災害の際に私たちの命を守るために大切な建物だと感じました。これからさらに工事が進んで、新庁舎が出来上がってくるのが楽しみです。

たなペスマイル



大野 純 さん

中辺路町近露

楽しいでつなぐ旅

高校の時、同級生に観光の専門学校に誘われ、「楽しそう」と入学。専門学校でも友人に「一緒に船で働かん?」と誘われ、「それも楽しそう」と豪華客船で20年間働きました。仕事はとても忙しかったのですが、デッキに出て地球の丸さを感じながら景色を眺めたり、寄港地に着けば、温泉や食事などを楽しみました。旅が好きになった私は、熊野古道が世界中で注目されるようになったこともあり、いつか地元で旅人をもてなしたいと思うようになりました。

現在は地元で念願のゲストハウスを始め、観光ガイドもしながら様々な国や世代の人々との出会いを楽しんでいます。船員として世界中を旅してきましたが、紀南地方は世界に負けない魅力があります。今まで世界中を見てきたからこそ、そのことを強く感じています。ここは山や川などとても景観がいい。また海や川で泳いだり、ダイビング・低山登山・釣り・カヤックなどアウトドアでの遊びもたくさんあります。熊野古道を目的に来てくれる方が多いですが、訪れた方々に、この地方の良さをもっと広めていきたいです。

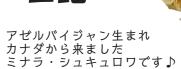
ミナラのキラたなべ日記

~ Tanabe's Lifelong Learning Festival ~ 第 13 回 田辺市生涯学習フェスティバル

田辺市生涯学習フェスティバルに、子供たちと一緒に参加し、「世界の国々を見てみよう!」のテーマでカナダとアゼルバイジャンの紹介をしました。国旗や本、民族衣装などを展示し、アゼルバイジャンのダンス体験などを行いました。

ダンス体験では、参加者にアゼルバイジャンの民族衣装を着ていただき「GIZLARIN REGSI」を一緒に楽しく踊りました。これはユネスコの無形文化遺産に登録されている、「ARSHIN MALALAN」というオペレッタ(喜歌劇)の劇中に出てくるダンスで、女性が「KELAGHAYI」というシルクスカーフを使って踊ります。また、私の息子は英語を交えながらですが、約一年間学んでいる日本語でカナダのことを紹介しました。

カナダやアゼルバイジャンの文化に触れる機会は少ないと思います。今回のイベントを通じて来ていただいた方々が異文化に触れる機会を作ることができ、私にとっても有意義な時間となりました。







23 Tanabe Publicity 2023.2 広報たなべ 令和5年2月号 22